

2026年5月14日

公益財団法人北海道こども・若者応援協会

(旧：公益財団法人北海道青少年育成協会)

NEWS RELEASE

**北海道こども・若者応援メンターシップ協定締結式**  
**～社会・地域全体でこども・若者の成長を応援～**

公益財団法人北海道こども・若者応援協会（以下、応援協という。）は、道内のこども・若者の健やかな成長を社会全体で応援する環境づくりを進め「こどもまんなか社会」の実現を目指すため、大学生等がメンターとなり、その次の世代である高校生、中学生(以下、メンティーという。)とともに考え、支え、活動することで、お互いの成長が促進されるよう別紙協定団体とメンターシップ協定を締結いたします。

なお、応援協及び協定団体がメンターシップを主眼とした協定を締結することは、はじめての取組となります。

記

■連携協定締結式

日時：2026年5月21日(木) 14:00から

場所：北海道庁旧本庁舎 赤れんがホール2階B（札幌市中央区北3条西6丁目）

締結者：北海道こども・若者応援協会 会長 山谷 吉宏

北翔大学 学長 佐々木 浩子 ほか別紙のとおり5団体の長

■協定の主な内容

1 大学生等によるメンター活動の促進



学びの過程においてメンター経験をすることで、正スパイラルが実現し、メンティー(中・高生)の成長とともに、メンターである大学生等にも学びのフィードバックが見込まれます。

## 2 メンター活動の支援、イベント等のコラボレーション



協定団体が実施するメンター活動に応援協の持つ交付金等制度等を紹介するほか、それぞれの強みを生かしたメンターイベントを協働で行います。

## 3 取組の相互周知と支援

協定団体のメンター活動の取組を相互支援し、活動の充実を図ります。

## 4 メンター同士の交流促進

メンター活動の充実を図るため、メンター同士の交流促進を図る場を設けます。

## 5 その他

当協会は、前々身の北海道青少年育成推進協議会から数えて60周年を迎え、子ども・若者の応援に新たな一步を踏み出すため、旧青少年育成協会から名称の変更を行うとともに、応援活動への支援の強化など各種取組の充実を図っていくこととしました。

その一環として、本協定により、次の世代を担う大学生が次の次の世代の中高生とともに向き合い、アドバイスやスキルを提供、その活動を通じメンターである大学生自らも成長するという「メンターシップ」の確立に取り組むほか、主催イベントを大学生とともに運営することなどによって、メンター活動のきっかけづくりに努めます。

こうしたスタイルが広がり、地域課題となっている活動の担い手の減少や高齢化対策となることを期待しています。

### 【本件に関するお問い合わせ先】

公益財団法人 北海道子ども・若者応援協会  
〒060-0005 北海道札幌市中央区北5条西6丁目 第二道通ビル6階  
TEL : 011-231-6451  
Mail : azumada@ikuseikyo.jp  
担当 : 専務理事 東田(あずまだ) 俊和

## 協定団体の紹介

### 学校法人美専学園 北海道芸術デザイン専門学校(校長：根上 和也 通称:bisen[ビセン])



【夢を夢で終わらせない】本校は 60 年以上の歴史を持つ伝統校で、1 万人以上の卒業生を輩出。卒業生はさまざまな業界でデザイナーとして活躍しています。昼間部（職業実践専門課程）と夜間部（一般課程）を設置し、企業・団体・自治体と連携した実践的な授業にも積極的に取り組んでいます。また、子ども向けワークショップも開催しています。



bisen  
website

### 学校法人鶴岡学園 北海道文教大学(学長：玉井 康之)



“実学教育を活かす人へ”をテーマに、一般的なエッセンシャルワーカーではなく、地域インフラを支え、社会に貢献できる「アドバンスト・エッセンシャルワーカー」の育成を目指します。教養と専門性を融合した実学教育を通して、地域の未来を支える力と仕事の質を高める力を育みます。地域が持続していくための基盤づくりに取り組む、こども発達学科を含む 3 学部 7 学科 2 専攻 4 研究科を擁する総合大学です。

### 学校法人北翔大学 北翔大学・北翔大学短期大学部(学長：佐々木 浩子)



教育理念「愛と和と英知」に基づき、実践を重視した専門教育を通じて創造性ある人材を育成し、地域社会への貢献を目指しています。教育・福祉・スポーツ・芸術・心理分野の学びを通じ、他者を理解し支える力の育成と、地域と連携した活動に取り組んでいます。本協定では、こうした学びを生かし、学生がメンターとしてこども・若者に寄り添い支援を行います。これにより、双方の成長と地域社会への貢献につながります。

### 特定非営利活動法人 ezorock(代表理事：草野 竹史 呼称：エゾロック)



“ezorock”は、「社会を揺り動かす」という理念のもと、2000 年に行われた「RISING SUN ROCK FESTIVAL における環境対策活動」をきっかけに 2001 年 4 月に設立。以来、青年層のネットワーク拡大とともに、北海道の地域課題に対して、若者のアイデアやマンパワーを届ける事業を展開。年間のべ 300 日の活動に、のべ 2000 人の若者が参画し、自らの人生と社会を切り開いていく機会を作り出しています。

### 株式会社 コエルワ(代表取締役：阿曾沼 陽登[あそぬま きよと])



「自分と社会の距離感を変える」をミッションに掲げ、道内 20 以上の自治体で活動する教育会社。小規模自治体での長期休暇事業、小中高での探求学習や起業家教育、不登校生徒向け支援など、地域に根差したプログラムを企画・運営している。「生まれ育った環境に関わらず、誰もが自分の可能性をこえていける社会の実現」を目指し、自治体・学校・企業との連携にも力を入れている。

### ふじゼミ(主宰：藤澤 義博)



「マナビでミライを変えていく。」をコンセプトに活動する「ふじゼミ」は、北海道の大学生を中心に、多様な仲間が集う共創型コミュニティです。AI・デジタル・教育・地域づくりをテーマに、講座や勉強会、イベント運営などの実践的な活動を行っています。また小中学生向けのプログラミング体験会や「北海道小中学生プログラミングコンテスト」の運営を通じて、次世代のデジタル人材育成にも取り組んでいます。

### 公益財団法人 北海道こども・若者応援協会(会長：山谷 吉宏 旧:北海道青少年育成協会)



こども・若者が個人として尊重され、自分らしく幸せに成長できる社会の実現をめざし、全道にこども・若者応援推進員を委嘱し関係団体と連携した応援運動の推進、こども・若者の体験活動や社会参加を促進する交付金等の交付などを行っています。今年 4 月、協会創立 60 年の節目にあたり、協会の名称を目的に合わせ変更しました。

# 協定のイメージ

